

施策の方向性	行動計画	No	事業名	再掲	担当所属	
1 県民活動への理解や参加の促進	(1) 県民活動の普及啓発の推進	1	千葉県ホームページでの情報発信		県民生活・文化課	
		2	NPO・ボランティア情報マガジンの配信		県民生活・文化課	
		3	県民活動情報オフィスの運営		県民生活・文化課	
		4	県民向け市民活動・ボランティア普及啓発		県民生活・文化課	
		5	都市ボランティアの募集・運営		県民生活・文化課	
		6	県民活動PR月間の実施		県民生活・文化課	
		7	出前説明会等の実施		県民生活・文化課	
		8	法人化説明会の実施		県民生活・文化課	
		9	若い世代の参加促進を図る広報啓発と防犯ボランティア事業		警察本部生活安全総務課	
		10	自主防犯ボランティア団体の普及及び協働・支援事業		警察本部生活安全総務課	
	(2) 県民活動を体験する機会の提供	11	ボランティア活動への参加促進		県民生活・文化課	
		12	ボランティアセンター・市民活動支援センター交流会の開催		県民生活・文化課	
		13	地域と連携した福祉教育の推進		健康福祉指導課	
		14	ボランティア活動の振興(ボランティア振興事業)		健康福祉指導課	
		15	高校生のためのボランティア体験講座		教育庁さわやかちば県民プラザ	
		16	ボランティア入門講座		教育庁さわやかちば県民プラザ	
		17	ボランティア実践講座		教育庁さわやかちば県民プラザ	
		18	教育支援NPO・ボランティア等研究実践交流会		教育庁さわやかちば県民プラザ	
2 地域コミュニティを支える人材づくり	(1) 様々な県民活動で活躍する人材づくり	19	次世代ボランティア人材育成事業		県民生活・文化課	
		20	コーディネータースキルアップ講座		県民生活・文化課	
		21	災害時外国人サポーター養成講座		国際課	
		22	災害対策コーディネーターの養成		防災政策課	
		23	災害対策コーディネータースキルアップ講座		防災政策課	
		24	コミュニティソーシャルワーカー(CSW) 育成事業		健康福祉指導課	
		25	千葉県生涯大学校における地域を担う人材の育成		高齢者福祉課	
		26	我がまちシニア応援プロジェクト		高齢者福祉課	
		27	元気高齢者活躍サポート		高齢者福祉課	
		28	食生活改善推進員研修事業		健康づくり支援課	
		29	がん検診推進員育成講習会事業		健康づくり支援課	
		30	精神保健福祉ボランティア育成事業		障害者福祉推進課	
		31	外国語観光ボランティアガイド養成講座開催事業		観光企画課	
		32	ちば食育ボランティアの活動支援		安全農業推進課	
		33	地域とともに歩む学校づくり推進支援事業		教育庁生涯学習課	
		34	放課後子供教室推進事業		教育庁生涯学習課	
		35	「読み聞かせボランティア入門講座」の開催		教育庁中央図書館	
		(2) 東京2020大会を契機とした人材づくりとレガシーの創出	36	都市ボランティアの募集・運営	(再掲)	県民生活・文化課
37	外国人おもてなし語学ボランティア育成講座			県民生活・文化課		
38	通訳ボランティア養成事業			国際課		
3 市民活動団体等の基盤強化等	(1) 市民活動団体等の組織運営力等の向上支援	39	市民活動団体マネジメント事業		県民生活・文化課	
		(2) 中間支援組織の機能強化支援	40	ボランティアセンター・市民活動支援センター交流会の開催	(再掲)	県民生活・文化課
			41	市民活動支援組織ネットワークによる中間支援組織の機能向上と連携強化		県民生活・文化課
(3) 民が民を支える仕組みの普及・支援	42	民が民を支える仕組みの普及・支援		県民生活・文化課		
4 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進	(1) 地域コミュニティにおける様々な主体の連携・協働の推進	43	協働によるコミュニティづくりの普及・促進		県民生活・文化課	
		44	ちばコロポ大賞		県民生活・文化課	
		45	千葉県男女共同参画センターフェスティバル		男女共同参画センター	
		46	地域福祉フォーラムの設置・活動の促進		健康福祉指導課	
		47	防犯ボックスを核とした地域防犯力・コミュニティ力向上事業		くらし安全推進課	
		48	環境講座開催事業		環境研究センター	
		49	ちば中小企業元気づくり基金事業地域プロデュース支援事業		経済政策課	
		50	法人の森事業(法人の森協定)		森林課	
		51	里山活動の支援		森林課	
		52	若い世代の参加促進を図る広報啓発と防犯ボランティア事業	(再掲)	警察本部生活安全総務課	
		53	自主防犯ボランティア団体の普及及び協働・支援事業	(再掲)	警察本部生活安全総務課	
		54	千葉県警察学生サポーター「ChiPSS」活動		警察本部少年課(少年センター)	
		55	少年補導員・少年指導員活動		警察本部少年課(少年センター)	
		(2) 市民活動団体等と県行政・市町村行政の協働の推進	56	市町村と市民活動団体との連携促進事業		県民生活・文化課
			57	学校と市民活動団体との連携促進事業		県民生活・文化課
	58	県・市町村推進会議の開催		県民生活・文化課		
	59	パートナーシップ推進員会議の開催		県民生活・文化課		

<各事業の概要及び進捗状況>

1 県民活動への理解や参加の促進

活動に対する関心が高まっている一方で参加という行動につながっていないという現状等を踏まえながら、様々な形で広報・普及啓発を行うだけでなく、より多くの県民が参加機会を得られるよう、活動体験の場と機会の提供、適切な情報発信に努めます。

(1) 県民活動の普及啓発の推進

No.	事業名	事業概要	実施目標
1	千葉県ホームページでの情報発信 〔県民生活・文化課〕	県ホームページの特設サイト「千葉県NPO・ボランティア情報ネット」において、NPO法人情報及び県のNPO・ボランティア関連施策情報、民間団体からの助成情報等を掲載する。 また、ボランティア関連情報のページに、各種ボランティアの募集情報や東京オリンピック・パラリンピック関連情報、災害ボランティア関連情報等を掲載する。	千葉県NPO・ボランティア情報ネット」関連ページビュー数 900,000件
2	NPO・ボランティア情報マガジンの配信 〔県民生活・文化課〕	NPO・ボランティア活動関連の各種事業やイベントなどの情報を随時配信する。また、ボランティア活動の参加を促す効果的な情報発信の方法について検討する。	年24回 (月2回)配信
3	県民活動情報オフィスの運営 〔県民生活・文化課〕	県庁本庁舎2階の「県民活動情報オフィス」において、NPO法人の縦覧及び閲覧、NPO法人の設立時の各種相談、NPO・ボランティア関連情報の提供、ミーティングルーム等の貸出等のサービスを提供する。	オフィス利用者数 1,500名

1 県民活動への理解や参加の促進

【成果指標】

目標項目	現 状 (29年度)		30年度	31年度	32年度
市民活動団体、ボランティア活動に関心がある人の割合	41.9%※1	目標	46.0%	50.0%	55.0%
		結果	45.1%		
		目標比	98.0%		
		前年比	107.6%		
ボランティア活動に参加したことのある人の割合	33.9%※1	目標	36.0%	38.0%	40.0%
		結果	28.2%		
		目標比	78.3%		
		前年比	83.2%		

※1 第54回県政に関する世論調査結果より

進捗状況	現時点での評価
<p>【アクセス件数】(H31年1月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページビュー数:413,700件 <p>【情報発信件数】(H31年1月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間団体等からの助成情報:77件・県が募集しているボランティア情報:23件 	<p>ページビュー数については、目標達成が難しい見込みとなっています。今後は、関連ページへのリンク掲載など、アクセスしやすいページづくりを心掛け、ページビュー数の増加に向けた工夫を行っていく必要があります。</p> <p>また、今後も各種ボランティアに関する情報や民間団体等の助成情報等を更新していきます。</p>
<p>配信回数:20回(H31年1月末現在)</p> <p>内容:研修会、イベント情報、助成金情報、ボランティア情報等。</p> <p>会員数:2,496名</p>	<p>メールマガジンは月2回のペースで配信しており、目標の達成が見込まれます。今後も引き続き、効果的な情報発信の方法について検討していきます。</p>
<p>オフィス利用状況(H31年1月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○NPO法人等の各種相談:92件 ○情報検索等窓口対応:289名 ○電話問合せ等対応:338名 ○ミーティングスペース利用:531名 <p>計 1158名</p>	<p>利用者数は、目標をやや下回るものの概ね達成する見込みです。</p> <p>今後とも、オフィス機能の見直しや強化を検討するとともに、利用促進に向けて、県ホームページや各種研修会等で広報を行っていきます。</p>

1 県民活動への理解や参加の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
4	県民向け市民活動・ボランティア普及啓発 〔県民生活・文化課〕	市民活動の基礎知識等を掲載したリーフレットや、各種普及啓発用グッズを様々な機会を捉えて配布し、県民活動の普及啓発をおこなう。	各種行事への出展 3回
5	都市ボランティアの募集・運営 〔県民生活・文化課〕	東京2020大会開催時及びその前後の期間において、会場最寄駅や主要駅、空港などで本県を訪れる旅行者等に対して、交通案内や観光案内等の「おもてなし」を行う「都市ボランティア」を募集し、関係市町と連携し運営をする。さらに、東京2020大会に向けた取組を一過性のものとせず、醸成した機運や活動の継続などを県全域に波及させ、大会後のレガシー（持続的効果）として、ボランティア活動の更なる発展につなげることを目指す。	募集人数 3,000人 ボランティアシンポジウムを2回実施
6	県民活動PR月間の実施 〔県民生活・文化課〕	NPO法施行日である12月1日前後の1カ月（11/23～12/23）を「ちば県民活動PR月間」とし、県民にNPO・ボランティア活動を知ってもらい、活動への参加に繋がるようなイベントを行う市町村や市民活動団体へ広報支援を行う。	ちば県民活動PR月間 賛同行事 20件
7	出前説明会等の実施 〔県民生活・文化課〕	NPOやボランティアの基礎知識、県の施策状況などについての説明会を県内各地に赴き、実施する。	開催回数：20回
8	法人化説明会の実施 〔県民生活・文化課〕	NPO法人格の取得を検討している方を対象に、NPO法人制度や設立手続についての説明会を千葉市と共催で月1回開催する。また、うち4回は夜間に開催する。	開催回数：12回

1 県民活動への理解や参加の促進

進捗状況	現時点での評価
<p>5/3～5/5 幕張メッセどきどきフリーマーケット 参加者:900名 6/10 県民の日中央行事 参加者:1,000名 10/8 エコメッセ 参加者:800名</p>	<p>それぞれのイベントで普及啓発を行い、行事への出展目標の3回を達成することができました。</p>
<p>■都市ボランティア応募人数6,546人(倍率2.2倍) ■シンポジウム開催 ・第1回、7/16、参加者605名 ・第2回、9/9、参加者578名 ■普及啓発(イベント出展) 6/10県民の日中央行事、10/8 エコメッセ、10/21アクアラインマラソン</p>	<p>ボランティアシンポジウムを7月と9月の2回実施し、どちらも定員を大きく超える申込があり、盛況な会となりました。 県民の日中央行事等のイベントでは、リーフレット等の配付等で普及啓発を行い、多くの方々に興味を持っていただくことができました。 9月12日～12月10日の期間で都市ボランティアを募集し、定員を大きく上回る6,546人(倍率2.2倍)の応募がありました。</p>
<p>(H31年1月末現在) 市町村賛同行事:24件 市民活動団体賛同行事:5件</p>	<p>市町村及び市民活動団体に対し、ちば県民活動PR月間賛同行事の募集をおこない、応募のあった団体に対して、千葉県HPへの掲載やPRグッズの提供等の広報支援を実施しています。 目標の20件を上回る、29件の行事に対して支援を行っています。今後も多くの賛同行事の応募に向けて広報に努めていきます。</p>
<p>開催回数25回(1月末現在)</p>	<p>今年度は市町村担当課、市民活動センター、ボランティアセンターに加え、学校宛てに出前説明会の活用について文書を発出しました。 昨年度、オリンピック・パラリンピックに関する講座を新たに設定したことを受け、多数のお申込みをいただいたこともあり、すでに実施目標を達成しています。 今後も多くの講座を開催できるよう広報に努め、説明機会の拡充を図っていきます。</p>
<p>開催回数10回 参加者68人(H31年1月末現在) (内訳) 第1回(4/12) 6人、第2回(5/10) 6人 第3回(6/14) 15人、第4回(7/12) 11人 第5回(8/9) 0人、第6回(9/13) 10人 第7回(10/11)5人、第8回(11/8)7人 第9回(12/13)4人、第10回(1/10)4人 (8月は台風の為、参加予定者欠席)</p>	<p>目標の達成が見込まれます。 今後も、法人格取得を目指す人々の県民活動への理解・参加を促進するために、個別の相談にも随時対応し、法人化説明会等の内容を充実させていく必要があります。</p>

1 県民活動への理解や参加の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
9	若い世代の参加促進を図る広報啓発と防犯ボランティア事業 〔警察本部生活安全総務課〕	自主防犯活動に意欲のある若い世代(県内の大学等に在籍、又は県内に在住、若しくは在勤する16歳以上30歳未満)で結成された防犯ボランティアグループ「ブルー・スターズ」により、自主防犯活動への参加・取組による若年層の防犯意識や規範意識の向上を図るほか、地域における絆の強化を図る。また、若年層等による自主防犯活動の一層の活性化のための広報啓発を実施する。	若い世代の防犯意識や規範意識の向上を図ります。
10	自主防犯ボランティア団体の普及及び協働・支援事業 〔警察本部生活安全総務課〕	県内で活動する自主防犯ボランティア団体に対して、地域の防犯情報を提供するほか、警察官との合同パトロールを実施する。その他、自主防犯ボランティアの活動の活性化を図るため、県下各署において、自主防犯パトロール隊や町会等を対象に防犯講話や情報交換会を開催する。さらに、自主防犯ボランティアへの参加促進等を図るため、広報啓発活動を実施する。	防犯講話や情報交換を通じて、自主防犯活動団体に対する支援を推進します。

(2) 県民活動を体験する機会の提供

No.	事業名	事業概要	実施目標
11	ボランティア活動への参加促進 〔県民生活・文化課〕	県全体のボランティア活動の推進を図るため、活動体験等を通じた地域のボランティア活動への参加のきっかけづくりを行う事業を実施する。	2事業の実施
12	ボランティアセンター・市民活動支援センター等研修会及び交流会の開催 〔県民生活・文化課〕	県社会福祉協議会等との連携のもと、市町村ボランティアセンターと市町村の市民活動支援センターのスタッフの研修及び情報共有の場として、研修会・交流会を開催する。	第1回参加者:23名 第2回参加者:59名

1 県民活動への理解や参加の促進

進捗状況	現時点での評価
<p>(防犯キャンペーン及び研修会への「ブルー・スターズ」の参加回数と人数) 延べ11回75人、新規会員21人(H30年1月末時点)</p> <p>【ブルー・スターズ参加のキャンペーン等】 ①密輸防止キャンペーン(成田市) ②ロックの日防犯キャンペーン(千葉市) ③電車内における痴漢防止キャンペーン(千葉市)④薬物乱用防止キャンペーン(千葉市) ⑤警察ふれあいフェスタ(千葉市) ⑥第1回千葉県警察若手防犯ボランティア研修会(警察本部) ⑦一日生活安全部長の委嘱及び老人クラブと連携した電話de詐欺の撲滅に向けた広報啓発活動(警察本部、一宮町) ⑧千葉県読売防犯セミナー(千葉市) ⑨地域防犯力の向上に関する交流大会(千葉市) ⑩電話de詐欺被害防止キャンペーン(千葉市)⑪年末年始特別警戒取締り出動式(千葉市)</p>	<p>県内各地で開催された防犯キャンペーン等に「ブルー・スターズ」の会員が参加したことにより、若年層の防犯意識や規範意識の向上が図られました。</p> <p>若い世代の防犯ボランティア団体相互の交流を深め、各団体の活動の活性化と子供の見守り活動等への参画意識の高揚を図るため、「第1回千葉県警察若手ボランティア研修会」を開催し、生活安全部内が事務局をしている「ブルー・スターズ」(生活安全総務課)、「ChiPSS」(少年課)、「サイバーウォッチャー」(サイバー犯罪対策課)の3団体が参加しました。</p> <p>自主防犯ボランティア団体の構成員の高齢化が進んでいることから、新規会員の加入促進を図るとともに、次世代のボランティアリーダーの育成、会員による自主的な運営、県内の他団体との交流を図ることが課題です。</p>
<p>・警察官との合同パトロール 2,058件 ・防犯講話 5,509件 ・広報啓発キャンペーン 867件 (いずれも数値平成30年12月末時点)</p>	<p>合同パトロール、防犯講話等の実施により、自主防犯ボランティア団体の活動の活性化が図られました。</p> <p>自主防犯ボランティア団体の構成員の高齢化が進んでおり、若い世代の参加促進を図ることが課題です。</p>

進捗状況	現時点での評価
<p>企画提案による業務委託で実施。 採択2団体(応募5団体)</p> <p>①ちば里山・バイオマス協議会「千葉の里山でおもてなし」 ・8月 第1回森林セラピー障害児等の里山体験 ・9月 第2回竹林整備体験 ・10月 第3回農園作業ボランティア体験 ・第4回竹灯り準備作業体験ボランティア ・第5回国産メンプロジェクト竹と触れ合う体験会 ・11月 第6回竹林整備体験竹細工加工 ・12月第7回古民家活用と竹林整備体験ボランティア ・1月 第8回勝浦ビッグひな祭りイベント竹灯り準備作業ボランティア 参加者数251名 ②ディーブデモクラシー・センター「チーボラ大作戦2018」 ■やってみよう！ボランティア ・10/30第1回参加者10名 ・11/6第2回参加者8名 ■ボランティアコーディネーター向け講座(2/21、参加者34名)</p>	<p>①「千葉の里山でおもてなし」 高校生や小さいお子さん連れの親子等の若者を対象に、里山を楽しむイベントの中で、竹林整備や農園作業等の里山保全につながるボランティア活動を実施することで、参加しやすい体験イベントとすることができました。</p> <p>②「チーボラ大作戦2018」 「やってみよう！ボランティア」では、ボランティアを取り巻く社会情勢や考え方についての講義と併せてボランティア体験の場を紹介することで、活動につなげていく場づくりを行うことができました。</p> <p>「ボランティアコーディネーター向け講座」では、有償ボランティアに係る制度や判断に必要な情報を整理して提供することで、ボランティアに参加しやすい環境づくりにつながりました。</p>
<p>・11/13 第1回研修会 会場:千葉県社会福祉センター 講師:(株)CALICODESIGN 代表取締役 藤井氏ほか 事例発表:弁護士法人ソーシャルワーカーズ 副代表 弁護士 安井氏 ・1/9 第2回 会場:千葉県教育会館 講師:認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ 代表理事 横田氏</p>	<p>第1回はボランティアセンターと市民活動支援センターの交流の機会としてワークショップ中心の構成とし、第2回は昨今重要性の高まっている3者連携による地域防災をテーマに講演中心の構成として実施しました。</p> <p>今後も両センターの交流や連携の契機となる場として開催していきますが、市民活動支援センタースタッフの参加促進が課題であり、関係団体と連携した広報が重要です。</p>

1 県民活動への理解や参加の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
13	地域と連携した福祉教育の推進 〔健康福祉指導課〕	県民の福祉に対する理解と関心を深め、福祉活動への自発的な参加意欲を醸成するため ・小・中・高校を対象に福祉教育推進校を指定 ・福祉教育研究県大会及び福祉教育推進員養成研修を実施する。	・新たな推進校の指定 ・福祉教育研究県大会の開催 ・福祉教育推進員養成研修の実施
14	ボランティア活動の振興(ボランティア振興事業) 〔健康福祉指導課〕	ボランティア等の民間福祉活動の育成発展を図るため、各種ボランティア研修事業等を行う千葉県ボランティア・市民活動センターの運営や研修事業を補助する。	・千葉県ボランティア市民活動センターの運営事業補助 ・研修事業補助(ボランティア・市民活動コーディネーター研修、リーダー研修、マネジメント研修、コーディネーター研修、大学生ボランティア活動推進セミナー)
15	高校生のためのボランティア体験講座 〔さわやかちば県民プラザ〕	ボランティア活動に関心のある千葉県内の高等学校に在学している者を対象に様々な分野のボランティアについての講義と演習を実施する。	(さわやかちば県民プラザ会場) 開催日数6日間、 実習7時間以上、 参加数50名 (東金青年の家会場) 開催日数3日間、 実習7時間以上、 参加数50名
16	体験活動ボランティア活動入門講座 〔さわやかちば県民プラザ〕	ボランティアを始めたいと思っている方や興味のある方を対象に、ボランティアの基本や身近にできるボランティアについて学ぶ講座を開催する。	開催回数1回 参加数30名
17	体験活動ボランティア活動実践講座 〔さわやかちば県民プラザ〕	ボランティアの具体的な実践を学び合うことにより、ボランティア活動を効果的に進める実践力を向上させる講座を開催する。	開催回数1回 参加数30名
18	教育支援NPO・ボランティア等研究実践交流会 〔さわやかちば県民プラザ〕	教育支援を行っているNPOやボランティア団体等を対象に、事例研究や講演を通し、資質向上や参加者間のネットワーク構築を図ります。	開催回数1回 参加数50名

1 県民活動への理解や参加の促進

進捗状況	現時点での評価
<ul style="list-style-type: none"> ・H30年度指定校 小学校8校、中学校6校、高等学校6校 ・福祉教育研究県大会 8/22開催 参加者259名 ・福祉教育推進員養成研修 実施日 4/27、7/27、8/1、8/22、8/27 修了者 28名 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな推進校の指定については、目標を達成することができました。 ・福祉教育研究県大会の開催については、目標を達成することができました。 ・福祉教育推進員養成研修の実施については、目標を達成することができました。
<ol style="list-style-type: none"> 1. ボランティア・市民活動支援センター研修、2回開催、計77名 2. ボランティアリーダー研修、5回開催、計184名 3. ボランティアリーダーマネジメント研修、8/3、39名 4. コーディネーター研修、2回、計40名 5. 新たな担い手(大学生ボラ)セミナー、2/16、42名 	<ul style="list-style-type: none"> ・センター運営事業について、運営に係る委員会や機関紙の発行など、適正に実施しています。 ・研修事業について、適正に実施しています。
<p>(さわやかちば県民プラザ会場)①6/16ボランティアの心構え、東京2020のボランティア②6/23福祉ボランティア ③7/15知的障害のある方との交流、保育ボランティア ④7/26共生 ⑤9/23国際ボランティア・防災ボランティア ⑥9/29 実践発表 参加者:延べ162名 (東金青年の家会場)①ボランティアの心構え、東京2020のボランティア ②国際ボランティア ③防災ボランティア、実践発表、参加者:延べ69名</p>	<p>多様な分野のボランティア活動を学ぶことに加えて、多くの体験活動や夏季休業中のボランティア活動を取り入れたことで、より実感を伴った講座となりました。</p> <p>また、県内2会場での実施としたことで、昨年度と比較して参加者数が増え、幅広い地域の高校生が受講することができ、受講者は、自分の将来に対して見つめ直したり、ボランティアへの意欲を向上させたりすることができました。</p> <p>今後は、参加者が参加しやすいよう実施日の設定や会場の拡大及び周知について工夫していく必要があります。</p>
<p>6/23 午前:ボランティア活動の基本、午後:オリンピック・パラリンピックボランティア 会場:さわやかちば県民プラザ 参加者:28名</p>	<p>受講者は、ボランティアの基本的な考え方や原則を理解するとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が、ボランティア等を通して自分でも参加できる身近なものであるということを理解し、今後のボランティア活動への意欲向上につながりました。</p>
<p>【結果】9/8 午前:子どもの体験活動の必要性について、午後:リスクの予知(事例をもとに)、事故発生時の対処法 会場:さわやかちば県民プラザ 参加者:23名</p>	<p>「子どもの体験活動」に関わっている方及び興味がある方を対象としたことで、講座の趣旨が明確になり意欲的な参加に繋げることができました。</p> <p>また、実際にフィールドワークを行い、発生しうるリスクを小グループで話し合い共有化したことで、リスクマネジメントの視点を意識することができました。</p>
<p>【予定】3/2 教育支援NPO・ボランティア等研究実践交流会開催予定</p>	<p>※今後開催予定であり、現時点での評価は困難です。</p>

2 地域コミュニティを支える人材づくり

県民活動を通じた人材育成を促進するため、様々な分野での活動の機会の創出やノウハウを学ぶ場づくりを行います。併せて、東京2020大会を契機として共生社会を担う人材の育成を図ります。

(1) 様々な県民活動で活躍する人材づくり

No.	事業名	事業概要	実施目標
19	次世代ボランティア人材育成事業 〔県民生活・文化課〕	地域コミュニティを構成する様々な主体が、連携・協働しながら、地域を担う次世代のボランティア人材を、効果的かつ持続的に育成することを狙いとして、市民活動団体等の企画提案による「次世代ボランティア人材育成事業」を平成30年度より実施します。	1事業の実施
20	コーディネータースキルアップ講座 〔県民生活・文化課〕	市民活動支援センター、ボランティアセンタースタッフのコーディネーションスキル向上を目的としたセミナーを開催する。	開催回数：1回
21	災害時外国人サポーター養成講座 〔国際課〕	災害時における外国人支援として、外国語通訳や避難所での対応の仕方など外国人支援を行うサポーター養成講座を開催する。	開催回数2回
22	災害対策コーディネーターの養成 〔防災政策課〕	地域の防災活動や災害時の支援活動において中心的な役割を担う「災害対策コーディネーター」など、地域の防災リーダーを養成する市町村の取組について、「千葉県地域防災力向上総合支援補助金」の活用等により支援する。	災害対策コーディネーターの増加
23	災害対策コーディネータースキルアップ講座 〔防災政策課〕	災害対策コーディネーターが、広域的な連携・協力関係を築き、より実践的な防災知識を習得するため、災害対策コーディネータースキルアップ講座を開催する。	開催回数 1回

2 地域コミュニティを支える人材づくり

【成果指標】

目標項目	現 状 (29年度)		30年度	31年度	32年度
ボランティア活動に継続して参加している人の割合	10.1%※1	目標	13.0%	16.5%	20.0%
		結果	8.9%		
		目標比	68.5%		
		前年比	88.1%		

※2 第54回県政に関する世論調査結果より

進捗状況	現時点での評価
<p>委託先: 特定非営利活動法人生涯学習応援団ちば</p> <p>業務名: 2020ちばおもてなし隊チャレンジステージⅡ～2018から2020へ～</p>	<p>3団体から応募があり、1団体を採択しました。大学生や高校生等と連携し、おもてなし活動の実践体験等を行う事業の実施を目的としています。</p> <p>2月には今年度の事業の締めくくりとしてフォーラムの開催が予定されています。</p>
<p>1/9開催会場: 千葉県教育会館 (ボランティアセンター市民活動支援センター合同研修会)</p> <p>講師: 認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ 代表理事 横田氏</p>	<p>千葉県社会福祉協議会と共催で行うことで、3者連携による地域防災向上という具体的なテーマのもとで実施できました。</p>
<p>委託先: (特非) 多文化共生マネージャー全国協議会 第1回(12/8) 会場: 我孫子市内 参加者: 47名(外国人支援ボランティア)</p> <p>第2回(12/15) 会場: 我孫子市内 参加者: 34名(外国人支援ボランティア)、11名(外国人)</p>	<p>実施目標を達成することができました。</p> <p>今後も引き続き外国人支援ボランティアを養成できるように、市町村と連携して事業を進めていきます。</p>
<p>4市において養成講座を実施し、新たに166名が災害対策コーディネーターとして登録されました。</p> <p>この結果、平成31年1月末日時点の登録者数が1,234名となり、前年度末と比較し、160名の増加となりました。</p> <p>(実施市: 市原市、袖ケ浦市、木更津市、君津市)</p>	<p>災害対策コーディネーター登録者数は増加しており、目標を達成しています。</p>
<p>災害対策コーディネータースキルアップ講座を3月に開催予定です。</p>	<p>評価については、実施後に記載予定です。</p>

2 地域コミュニティを支える人材づくり

No.	事業名	事業概要	実施目標
24	コミュニティソーシャルワーカー(CSW)育成事業 〔健康福祉指導課〕	地域福祉活動を担う方を対象とする「基礎研修」、社会福祉等に係る個別支援又は相談支援を担う方を対象とする「専門研修」、専門研修の修了者を対象とする「フォローアップ研修」を実施し、地域において活躍する人材の育成・スキルアップを図る。	1 基礎研修 定員150名以上 ※ 複数回の開催の場合 は合計 2 専門研修 定員30名以上 ※ 複数回の開催の場合 は合計 3 フォローアップ研 修 定員20名以上 ※ 複数回の開催の場合 は合計
25	千葉県生涯大学校における地域を担う人材の育成 〔高齢者福祉課〕	高齢者が地域の様々な問題解決に向け、専門性を身につけ、地域活動の担い手として活躍することができる人材を養成する。	入学者数の増加
26	我がまちシニア応援プロジェクト事業 〔高齢者福祉課〕	介護予防や生活支援など高齢者の暮らしを支える地域福祉団体の機能強化を図るため、情報発信やマーケティング等の運営面で専門的なスキル・経験等を活かし活動を行うボランティア(プロボノワーカー)を派遣し、その取組を支援する。	支援団体数5団体
27	元気高齢者活躍サポート事業 〔高齢者福祉課〕	高齢者の社会参加を促し、高齢者が地域の担い手として活躍できるよう生活支援の担い手の養成等を行う事業に対し補助を行う。	養成人員400人
28	食生活改善推進員研修事業 〔健康づくり支援課〕	各市町村で活動している食生活改善推進員に対し、活動の意義と技術について教育研修を行い、資質の向上を図る。	開催回数20回 参加人数600名
29	がん検診推進員育成講習会事業 〔健康づくり支援課〕	各市町村の母子保健推進員、健康づくり推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等に対し講習会を行い、がん検診推進員として育成し、これらの人材の協力を得て、各地域でがん検診の声かけ運動等を実施することにより受診率の向上を目指す。	年6回の講習会を開催し、がん検診推進員の増員を図る。

2 地域コミュニティを支える人材づくり

進捗状況	現時点での評価
(H31年1月末日現在) ・基礎研修延べ受講者数99名 (実施数3回/実施予定数5回) ・専門研修修了者数80名 (実施数5日/実施予定数5日) ・フォローアップ研修受講者数 未定 (実施数0回/実施予定数1回)	年間の研修計画に沿って実施しています。引き続き目標を達成できるよう進めます。
31年度入学予定者数 1,023名 (H31年1月末日現在)	入学予定者数は1月末の段階で1023名であり、定員の75%となっています。今後2次募集を行うにあたり、効果的な広報等を行い、入学者を確保していきます。
支援先団体数4団体	実施目標を概ね達成することができました。プロボノ自体の認知度を高めるため、事業終了後に開催する成果報告会を活用し、更なる普及啓発を行います。
5/18～6/15 募集(応募10団体) 7/5 選考委員会(採択10団体) 7月～8月 交付決定、事業開始 3/5 事業成果発表会	10団体を採択し、計761人の養成を見込んでいるため、目標を達成できる見込みとなっています。
【結果】 開催回数12回 参加人数547名 【予定】 開催回数4回 参加人数53名	複数回の開催を予定していた地域もありましたが単数開催となった地域があったため、開催回数を下方修正しました。参加人数は概ね計画どおりに進行中です。
6ブロック中、5ブロックで開催済み。 参加人数:168名	各ブロックごとに、地域性を考えて、テーマをどのがん種にするのか等、企画・実施しています。アンケート結果より、「講習会は声かけ運動をするための参考になったか」について「参考になった」が90%以上であり、わかりやすい内容で参加者からは好評でした。今後がん検診推進員育成講習会を実施し、がん検診受診率向上のための取組を進めていきます。

No.	事業名	事業概要	実施目標
30	精神保健福祉ボランティア育成事業 〔障害者福祉推進課〕	現在活動中の精神保健福祉ボランティア及び心の保健医療通訳ボランティアを対象に、フォローアップ講座や研修会を開催する。(精神保健福祉センターにおいて実施)	・精神保健福祉ボランティアフォローアップ講座 講座(2日)の開催 ・心の保健医療通訳ボランティア講座 講座(2日)の開催
31	外国語観光ボランティアガイド養成講座開催 事業 〔観光企画課〕	外国人観光客が訪れる観光地において、外国語による観光ガイドを務めて頂けるよう、説明方法などの実践的な養成講座を開催する。	魅力的な観光地づくりの担い手となる人材の育成
32	ちば食育ボランティアの活動支援 〔安全農業推進課〕	ちば食育ボランティアに対する基礎研修とスキルアップ研修を行う。 (ちば食育ボランティア登録者数4,114名※平成30年9月末現在)	ちば食育ボランティア研修会 年度内2回の開催・参加数50名×2回
33	地域とともに歩む学校づくり推進支援事業 〔生涯学習課〕	学校と地域が連携して、地域コミュニティを構築し、地域の子供たちを地域で育てていくため、学習支援や環境整備、登下校時の見守りなど、地域と学校が連携・協働して行う活動や学習が遅れがちな中学生等を対象とした原則無料の学習支援など、地域学校協働活動を推進する。そのため、地域学校協働活動推進員や協働活動サポーターを養成する研修会を開催する。	地域とともに歩む学校づくり推進支援事業の地域学校協働本部の実施箇所数をH29年度より増やす。 ※H29実績:16市町143本部
34	放課後子供教室推進事業 〔生涯学習課〕	すべての子供を対象として、放課後や土曜日等に小学校の余裕教室等を活用し、安全に配慮しながら地域住民の参画を得て、交流活動等に取り組むなど、心豊かで健やかな子供の育成を目指す。そのため、コーディネーターや教育活動サポーターを養成する研修会を開催する。	放課後子供教室対象学校数を平成29年度より増やす。 ※H29実績:31市町233校を対象に実施
35	「読み聞かせボランティア入門講座」の開催 〔中央図書館〕	絵本の読み聞かせについての講演及び参加者による実演と講師のアドバイス等を行い、読書の重要性や本の選び方や読み聞かせの方法など、実践に役立つスキルを学ぶ。	開催回数2回、参加者80名

2 地域コミュニティを支える人材づくり

進捗状況	現時点での評価
<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉ボランティアフォローアップ講座 ①9/25 木更津市社協で開催 参加者27名 ②11/27 白井市社協で開催 参加者13名 ・通訳ボランティア講座 ①1/22 市原健康福祉センターで開催 参加者14名 ②2/8 成田市男女共同参画センターで開催 参加者6名 	<ul style="list-style-type: none"> ・通訳ボランティア講座について、今年度は開催場所を千葉市以外にしたところ、逆に参加者が減ってしまった。次年度は国際交流センターと意見交換をし検討したい。
<p>【結果】 1/29 木更津中央公民館 参加者:10名 1/30 船橋商工会議所 参加者:28名</p> <p>【予定】 2/6 佐原町並み交流館 受講対象者: 今後、外国語観光ボランティアガイドをしようと考えている方。 県内観光ボランティアガイド団体に所属している方。</p> <p>講座内容: 1. 講義&ワークショップ ・ガイド技能の習得(外国人観光客に対するNGワード等) ・外国語によるナレーション作成 2. ガイド実演研修 ・ボランティアガイド団体による観光ガイド ・講師のワンポイントアドバイス</p>	<p>全日程実施後に評価を行います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・8/31 第1回研修会(基礎研修) 会場等:千葉市生涯学習センター、67名 内容:環境にやさしい農業の推進、事例発表、情報交換等 ・11/8 第2回研修会(スキルアップ研修) 会場等:千葉市生涯学習センター、55名 内容:有限会社まきの取組、衛生管理等 	<p>目標を達成することができました。今後もちば食育ボランティアの活動を支援していきます。</p>
<p>16市町158本部を対象に実施</p>	<p>地域学校協働本部については、目標を達成することができました。今後は、未実施市町村等に対して本部の設置を呼びかけていきます。</p>
<p>31市町232校を対象に実施</p>	<p>放課後子供教室については、目標達成が難しい見込みとなっているため、今後は、未実施市町村等に対して、教室の設置を呼びかけていく必要があります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・9/24 読み聞かせボランティア入門講座 テーマ「絵本の読み聞かせ—選び方と読み方の実践—」 講師:小谷孝子氏、東ひろみ氏(船橋市・南房総市 ゆか下文庫) 会場:鴨川市立図書館 参加者:40名 ・11/15 読み聞かせボランティア入門講座 テーマ「絵本の読み聞かせ—選び方と読み方の実践—」 講師:入交静氏(にんじん文庫) 会場:大網白里市保健文化センター 参加者:18名 	<p>1回目、2回目ともに参加者アンケートでは満足度・理解度ともに高く、一定の成果を上げることができました。 今後は、会場となる市町村との連絡調整をより密に行い、周知方法等を工夫し、参加者の増加を目指します。</p>

(2) 東京2020大会を契機とした人材づくりとレガシーの創出

No.	事業名	事業概要	実施目標
36 再掲	都市ボランティアの募集・運営 〔県民生活・文化課〕	東京2020大会開催時及びその前後の期間において、会場最寄駅や主要駅、空港などで本県を訪れる旅行者等に対して、交通案内や観光案内等の「おもてなし」を行う「都市ボランティア」を募集し、関係市町と連携し運営をする。さらに、東京2020大会に向けた取組を一過性のものとせず、醸成した機運や活動の継続などを県全域に波及させ、大会後のレガシー（持続的効果）として、ボランティア活動の更なる発展につなげることを目指す。	募集人数 3,000人 ボランティアシンポジウムを2回実施
37	外国人おもてなし語学ボランティア育成講座 〔県民生活・文化課〕	東京2020大会の本県での開催に向けて、簡易な外国語を用いて道案内等の手助けを行うことができる人材の育成を目的に、「外国人おもてなし語学ボランティア」の育成講座を開催し、都市ボランティアを担う人材の育成と、外国人観光客等が安心して千葉県に滞在できる環境を整える。	①おもてなしコース 開催回数:7回 ②セットコース 開催回数:7回
38	通訳ボランティア養成事業 〔国際課〕	東京オリンピック・パラリンピック大会の開催に伴い、海外から多くの方が訪れることが見込まれるため、おもてなしの充実に向け、通訳ボランティア養成講座を開催する。	6講座

2 地域コミュニティを支える人材づくり

進捗状況	現時点での評価
<p>■都市ボランティア応募人数6,546人(倍率2.2倍) ■シンポジウム開催 ・第1回、7/16、参加者605名 ・第2回、9/9、参加者578名 ■普及啓発(イベント出展) 6/10県民の日中央行事、10/8 エコメッセ、10/21アクアラインマラソン</p>	<p>ボランティアシンポジウムを7月と9月の2回実施し、どちらも定員を大きく超える申込があり、盛況な会となりました。 県民の日中央行事等のイベントでは、リーフレット等の配付等で普及啓発を行い、多くの方々に興味を持っていただくことができました。 9月12日～12月10日の期間で都市ボランティアを募集し、定員を大きく上回る6,546人(倍率2.2倍)の応募がありました。</p>
<p>6～8月に成田市、船橋市、浦安市、市原市、茂原市、一宮町で開催。 10～12月に市川市、印西市、流山市、千葉商科大学で開催。</p>	<p>今年度開催講座はすべて実施することができました。</p>
<p>委託先:(公財)ちば国際コンベンションビューロー 【結果】 第1回千葉市(7/21、7/28、8/4)、第2回浦安市(8/30、9/6、9/13)、第3回千葉市(9/22、9/29、10/6)、第4回印西市(10/17、10/24、10/31)、第5回茂原市(11/13、11/20、11/27)、第6回千葉市(12/1、12/8、12/15) 6講座合計で195名が修了(英語172名、中国語12名、韓国語11名)</p>	<p>実施目標を達成することができました。 H31年度も引き続き養成講座を実施するとともに、受講された方に対し、東京オリンピック・パラリンピックに向けてボランティアスキルを維持できるよう、活動機会が提供できるように努めます。</p>

3 市民活動団体等の基盤強化等の支援

市民活動団体等の抱える人材面、資金面の課題に対して適切な支援を行うことのできる中間支援組織の支援や民が民を支える仕組みの普及を通じて、団体が持続的に活動できる環境整備に向けた基盤強化等を図ります。

(1) 市民活動団体等の組織運営力等の向上支援

No.	事業名	事業概要	実施目標
39	市民活動団体マネジメント事業 〔県民生活・文化課〕	市民活動団体の安定的・継続的な活動に向けて、必要なマネジメント能力の向上を図るセミナーを開催する。中間支援組織等の企画提案で実施する。	開催回数:4回以上 延べ参加者数:161名以上

(2) 中間支援組織の機能強化支援

No.	事業名	事業概要	実施目標
40 再掲	ボランティアセンター・市民活動支援センター等交流会の開催 〔県民生活・文化課〕	県社会福祉協議会等との連携のもと、市町村ボランティアセンターと市町村の市民活動支援センターのスタッフの研修及び情報共有の場として、研修会・交流会を開催する。	第1回参加者:23名 第2回参加者:59名
41	市民活動支援組織ネットワークによる中間支援組織の機能向上と連携強化 〔県民生活・文化課〕	市民活動支援組織の機能向上及び連携強化のため、県内の主要な市民活動支援組織の関係者を構成員とする千葉県市民活動支援組織ネットワークを運営し、支援組織に必要とされるノウハウや知識を習得するための研修を実施する。	ネットワーク会議等の開催回数 4回

3 市民活動団体等の基盤強化等の支援

【成果指標】

目標項目	現 状 (29年度)		30年度	31年度	32年度
市民活動団体の活動へ参加 (活動・寄附・支援)している 人の割合	32.8%※1	目標	34.0%	37.5%	37.0%
		結果	28.3%		
		目標比	83.2%		
		前年比	86.3%		
寄附を受けたことがあるNPO 法人の割合	59.4%※2	目標	60.0%	60.0%	60.0%
		結果	56.5%		
		目標比	94.2%		
		前年比	95.1%		

※1 第54回県政に関する世論調査結果より

※2 千葉県NPO法人実態調査結果より

進捗状況	現時点での評価
<p>受託団体:(特非)まつどNPO協議会 ・11/25 講師:NPO法人CRファクトリー 呉氏ほか 会場:千葉市内:17名 ・オンラインコミュニティ塾、2会場(千葉、市川)で 各3回、計62名 ・NPO事務力アップセミナー、2会場(千葉、松戸) で各1回、計70名</p>	<p>中間支援組織に委託して実施しています。 実施に当たっては、双方の知見やノウハウを活かした展 開としています。例えば、受託団体の企画力、県の持つ 広報ルートの活用などを併せることで、相乗効果を生み 出しています。</p>

進捗状況	現時点での評価
<p>・11/13 第1回研修会 会場:千葉県社会福祉セン ター 講師:(株)CALICODESIGN 代表取締役 藤井氏ほ か 事例発表:弁護士法人ソーシャルワーカーズ 副代 表 弁護士 安井氏 ・1/9 第2回 会場:千葉県教育会館 講師:認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ 代表理事 横田氏</p>	<p>第1回はボランティアセンターと市民活動支援センターの 交流の機会としてワークショップ中心の構成とし、第2回は 昨今重要性の高まっている3者連携による地域防災を テーマに講演中心の構成として実施しました。 今後も両センターの交流や連携の契機となる場として開 催していきますが、市民活動支援センタースタッフの参加 促進が課題であり、関係団体と連携した広報が重要で す。</p>
<p>(1) ネットワーク会議 ・第1回、10/9、千葉県社会福祉センター、40名 ・第2回、3/25、八街市内 (2) 同 作業部会 「入門」、「協働」、「法人化&運営」、「広報」、「ファン レイジング」の各Q&A作成に向けた作業部会 H30延長戦 5/31、6/5、6/11 (3) 同 幹事会 第1回7/25、第2回10/18、第3回3/15</p>	<p>積極的な場づくりに努めています。 第1回会議は、若手行政職員とベテランの中間支援スタッ フの意見交換の機会となるなど、当ネットワークの連携強 化に資する会となりました。 また、前年度に引き続き「市民活動Q&A」をつくるための 「作業部会」を開催し、Q&Aが完成したところです。 県内の中間支援の経験知を集めたワークショップの結果 として、センター等への配布とともに研修資料等として役 立っています。 中間支援組織は、県民活動を推進する要のひとつである ため、今後も幹事会のメンバーと協力しながら、効果的に 事業を展開します。</p>

(3) 民が民を支える仕組みの普及・支援

No.	事業名	事業概要	実施目標
42	民が民を支える仕組みの普及・支援 〔県民生活・文化課〕	「民が民を支える仕組み構築モデル事業」(H23～24)において構築された仕組みについては、県が実施するイベントや県ホームページ等において周知・PRするほか、運営主体との情報交換や意見交換を行うなど、協力することで、仕組みの活用促進を図る。	運営主体との情報交換の場を設ける

3 市民活動団体等の基盤強化等の支援

進捗状況	現時点での評価
<ul style="list-style-type: none">・意見交換を行うとともに、県ホームページ、メルマガ、県民活動情報オフィスにて、関連資料及びチラシの掲載等の広報支援を行った。・寄付月間2018の公式認定企画の実施及び賛同パートナーとなることで、寄附文化の醸成に努めた。	県ホームページ、県民活動情報オフィスでの情報提供やメルマガの配信などを実施しました。 今後も、周知・PRを継続することで仕組みの活用促進を図ります。

4 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

行政、中間支援組織、市民活動団体、地縁団体、社会福祉協議会、学校、企業など多様な主体が連携・協働して行う地域の課題解決に向けた取組や仕組みづくりへの支援や、県行政と市町村行政間の情報共有などによる協働の推進を図ります。

(1) 地域コミュニティにおける様々な主体の連携・協働の推進

No.	事業名	事業概要	実施目標
43	協働によるコミュニティづくりの普及・促進 〔県民生活・文化課〕	県内の複数地域において、市町村と地縁団体、市民活動団体、企業等が、協働による取組を検討する契機となるよう、有識者による講演や優良事例の共有等を行う。 また、各地で活動を行っている主体が、地域を超えた連携・協働につながる契機となるような交流会を実施する。	開催個所:4地域 開催回数:5回
44	ちばコラボ大賞 〔県民生活・文化課〕	市民活動団体が地縁団体、社会福祉協議会、学校・大学、企業、行政機関等と連携して、それぞれの特性を活かしながら地域社会の課題解決に取り組んでいる事例の中から、他のモデルとなるような優れた事例に取り組んでいる団体を表彰し、広く県民に周知することにより、連携による地域づくりの促進を図る。	応募件数 15件以上 (平成29年度13件) 表彰事例 3事例 (平成29年度3事例)

4 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

【成果指標】

目標項目	現 状 (29年度)		30年度	31年度	32年度
地域の様々な主体と連携している市民活動団体の割合	69.8%※1	目標	70.0%	71.0%	72.0%
		結果	66.5%		
		目標比	95.0%		
		前年比	95.3%		
市町村行政・県行政と市民活動団体との協働事業の件数	615件	目標	625件	635件	650件
		結果	635件		
		目標比	101.6%		
		前年比	103.3%		

※1 千葉県NPO法人実態調査結果より

※2 千葉県NPO・ボランティア関連事業一覧、県内市町村NPO・ボランティア関連事業一覧より
(千葉市は独自集計のため、件数に含まれていません。)

進捗状況	現時点での評価
<p>【結果】</p> <p>①海匝地域:「地域コミュニティを元気にする会議の進め方・つくり方」(7/20、匝瑳市民ふれあいセンター、参加者61名)</p> <p>②香取地域:「”コラボ”が生み出す、相乗効果から考えるこれからのまちづくり」(8/18、佐原中央公民館、参加者84名)</p> <p>③葛南地域:『地域を繋げ活力を引き出す!「場」を活性化する手法「ファシリテーション」を学ぼう!』(11/14、習志野市役所、参加者50名)</p> <p>④山武地域:「地域づくりは面白い! 実例から学ぶ知恵と工夫」(11/27、大網白里市保健文化センター、参加者62名)</p> <p>⑤海匝地域:「寄附が繋げる、これからの地域づくり」(12/18、銚子市勤労コミュニティセンター、参加者17名)</p> <p>* 寄附月間2018公式認定企画</p> <p>【予定】</p> <p>①長生地域:「地域を織り成す協働の実践のヒント～行政が担う”場づくり”のあるべき姿とは～」(3/12、長生村役場)</p> <p>②山武地域:「共に担うまちづくり」(3/20、大網白里市中央公民館)</p>	<p>現在、5回の開催を終え、2回の開催に向けた準備を進めています。</p> <p>開催に当たっては、開催地の自治体や中間支援組織等と連携して企画から振り返りまでを行い、協働の普及・促進効果を高めているところです。</p> <p>また、セミナー開催前には開催地域の市町村担当課で意見交換会を行い、広報連携することで広域的な取組にしています。</p> <p>事例発表者は、大学や企業等にも依頼することで、地域を担う主体の幅の広さやそれぞれの関わり方を考える契機としています。</p> <p>今後もより効果的な開催方法を考えながら実施していく必要があります。</p>
<p>6/2～8/2 事例の募集(応募13件)</p> <p>11/12 外部委員による審査会</p> <p>12/26 表彰式及び事例発表会</p>	<p>応募件数については目標には至らなかったものの、13件の応募の中、3事例を選考しました。</p> <p>表彰式では、表彰団体による事例発表も併せて開催し、90名の方に参加していただくことができました。</p> <p>今後は募集段階における広報の方法の見直し等を行いながら応募件数の増加を図り、また各市町村の協働の実態に即して適宜内容を改善していく必要があります。</p>

4 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
45	千葉県男女共同参画センターフェスティバル 〔男女共同参画センター〕	本県の男女共同参画社会づくりに向けた機運を高めるため、県民に男女共同参画への理解を深めていただくとともに、男女共同参画に取り組む民間団体と県民の交流の場を提供する「千葉県男女共同参画センターフェスティバル」を開催する。 ・企画運営委員会(ボランティア)の設置 ・ワークショップの開催	開催回数1回
46	地域福祉フォーラムの設置・活動の促進 〔健康福祉指導課〕	地域住民が、社会福祉協議会や民生委員・児童委員、NPO等地域福祉の担い手、更には福祉以外の各分野の人たちと協働して、地域における福祉等のあり方・取組みを考えていく組織である地域福祉フォーラムの設置を促進する。	新規設置数 基本 3箇所 小域 15箇所
47	防犯ボックスを核とした地域防犯力・コミュニティ力向上事業 〔くらし安全推進課〕	防犯ボックスのさらなる普及に向け、住民に最も身近な市町村が主体となり設置する防犯ボックスの初期費用や運営費について助成する。また、県が平成27年度までに設置した千葉市、市川市、柏市、船橋市の計4箇所の防犯ボックスについては、引き続き県が運営する。	3市町村に助成を実施
48	環境講座開催事業 〔環境研究センター〕	環境学習に関する専門的な知識とノウハウを持ったNPO等を公募し、環境講座を実施する。	開催回数12回
49	ちば中小企業元気づくり基金事業 地域プロデュース支援事業 〔経済政策課〕	中小企業者をはじめ、地域住民、NPOや商工団体等が連携して取り組む、地域ブランドのシーズ発掘、商品化の道を探るなどの企画業務、地域資源を活用した企画の実践やイベント実施、空き店舗活用事業などに対して助成する。	地域プロデュース事業助成 1件 地域活性化事業助成 5件
50	法人の森事業(法人の森協定) 〔森林課〕	社会貢献や環境活動を希望する企業や団体に対し、県有林の一部を「法人の森」として提供することで、CSR活動としての森林整備活動・森林環境教育活動をサポートする。	事業PR(ホームページ他) 協定締結 2件
51	里山活動の支援 〔森林課〕	景観維持や県土保全等の里山の持つ多面的機能を持続的に発揮するため、地域住民や企業、里山活動団体等の多様な人々の参画による森林整備活動が促進されるよう支援を行う。	里山活動団体や企業が整備・保全する森林面積を増やす。

4 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

進捗状況	現時点での評価
<p>【予定】 2/3 13:00～16:30 「千葉県男女共同参画フェスティバル」開催予定 会場:千葉市生涯学習センター 内容:①講演会「人生100年時代のワークライフバランス」 講師:河合薫(健康社会学者) ②ワークショップ 定員300人</p>	<p>参加者にとって利便性の高い会場で開催することに加え、より幅広い年齢層の県民の参加を得られるよう工夫していきます。</p>
<p>(H31年1月末日現在) ・基本福祉フォーラム 設置数22箇所(H30新規設置数2箇所) ・小域福祉フォーラム 設置数335箇所(H30新規設置数11箇所)</p>	<p>・基本福祉フォーラム 新規設置受理件数2件 ・小域福祉フォーラム 新規設置受理件数11件</p> <p>地域福祉活動計画の研修等、様々な機会に関係者への周知を図り、フォーラム設置を進めていきます。</p>
<p>6/18補助金交付決定(四街道市) 10/23補助金交付決定(栄町) 11/14補助金交付決定(東金市)</p>	<p>H31年4月 四街道市、東金市、栄町が運用開始予定です。 引き続き、県内への防犯ボックスの普及に取り組んでいきます。</p>
<p>講演会4回(7/15、10/20、11/18、12/19)、体験活動2回(8/29、12/2)、施設見学2回(9/7、9/26)、自然環境学習2回(7/23、8/4)、指導者養成講座2回(9/30、11/11)の合計12回の講座を開催し、456名が参加しました。</p>	<p>H31年4月 四街道市、東金市、栄町が運用開始予定です。 引き続き、県内への防犯ボックスの普及に取り組んでいきます。</p>
<p>地域プロデュース事業助成 採択0件(応募0件) 地域活性化事業助成 採択4件(応募5件)</p>	<p>地域プロデュース事業は応募がありませんでした。 また、地域活性化事業については審査基準に基づき審査を行った結果、4件の採択となりました。</p>
<p>■事業PR ・10/8 エコメッセ2018inちば出展 会場 幕張メッセ ・12/6～8 エコプロ2018出展 会場 東京ビックサイト ・県ホームページに新規協定候補地掲載 ■協定締結 2件(新規1、更新1)</p>	<p>協定締結について、目標を達成しています。引続き事業PRに努めてまいります。</p>
<p>多様な主体による森林整備活動への参画や協働を支援するための総合窓口を設置(NPO法人に業務委託)し、各種相談対応等を行っている ・窓口相談件数 93件 ・安全講習等の開催 2回 ・広報誌発行 3回</p>	<p>引続き多様な主体による森林整備活動への参画や協働を支援するための総合窓口の運営に協力し、事業の効果的な推進に努めてまいります</p>

No.	事業名	事業概要	実施目標
52 再掲	若い世代の参加促進を図る広報啓発と防犯ボランティア事業 〔警察本部生活安全総務課〕	自主防犯活動に意欲のある若い世代(県内の大学等に在籍、又は県内に在住、若しくは在勤する16歳以上30歳未満)で結成された防犯ボランティアグループ「ブルー・スターズ」により、自主防犯活動への参加・取組による若年層の防犯意識や規範意識の向上を図るほか、地域における絆の強化を図る。また、若年層等による自主防犯活動の一層の活性化のための広報啓発を実施する。	若い世代の防犯意識や規範意識の向上を図ります。
53 再掲	自主防犯ボランティア団体の普及及び協働・支援事業 〔警察本部生活安全総務課〕	県内で活動する自主防犯ボランティア団体に対して、地域の防犯情報を提供するほか、警察官との合同パトロールを実施する。その他、自主防犯ボランティアの活動の活性化を図るため、県下各署において、自主防犯パトロール隊や町会等を対象に防犯講話や情報交換会を開催する。さらに、自主防犯ボランティアへの参加促進等を図るため、広報啓発活動を実施する。	防犯講話や情報交換を通じて、自主防犯活動団体に対する支援を推進します。
54	千葉県警察学生サポーター「ChiPSS」活動 〔警察本部少年課〕	非行少年を生まない社会づくりの推進事業の一環として、少年の非行問題に関心があり、熱意と行動力を有する大学生を千葉県警察学生サポーターに委嘱(募集人員40人)し、警察、学校、地域と協働して、学習・スポーツ支援、居場所づくり等の立ち直り支援、街頭補導等の非行防止活動や健全育成活動を実施する。	少年の非行防止や健全育成活動を推進します。
55	少年補導員・少年指導委員活動 〔警察本部少年課〕	少年の非行防止及び健全育成を図るため、少年警察ボランティアを委嘱し、地域住民と協働した街頭補導活動や環境浄化活動等を推進する。	街頭補導活動や環境浄化活動等を推進します。

4 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

進捗状況	現時点での評価
<p>(防犯キャンペーン及び研修会への「ブルー・スターズ」の参加回数と人数) 延べ11回75人、新規会員21人(H30年1月末時点)</p> <p>【ブルー・スターズ参加のキャンペーン等】</p> <p>①密輸防止キャンペーン(成田市)②ロックの日防犯キャンペーン(千葉市) ③電車内における痴漢防止キャンペーン(千葉市) ④薬物乱用防止キャンペーン(千葉市) ⑤警察ふれあいフェスタ(千葉市)⑥第1回千葉県警察若手防犯ボランティア研修会(警察本部) ⑦一日生活安全部長の委嘱及び老人クラブと連携した電話de詐欺の撲滅に向けた広報啓発活動(警察本部、一宮町) ⑧千葉県読売防犯セミナー(千葉市)⑨地域防犯力の向上に関する交流大会(千葉市) ⑩電話de詐欺被害防止キャンペーン(千葉市)⑪年末年始特別警戒取締り出動式(千葉市)</p>	<p>県内各地で開催された防犯キャンペーン等に「ブルー・スターズ」の会員が参加したことにより、若年層の防犯意識や規範意識の向上が図られました。</p> <p>若い世代の防犯ボランティア団体相互の交流を深め、各団体の活動の活性化と子供の見守り活動等への参画意識の高揚を図るため、「第1回千葉県警察若手ボランティア研修会」を開催し、生活安全部内が事務局をしている「ブルー・スターズ」(生活安全総務課)、「ChiPSS」(少年課)、「サイバーウォッチャー」(サイバー犯罪対策課)の3団体が参加しました。</p> <p>自主防犯ボランティア団体の構成員の高齢化が進んでいることから、新規会員の加入促進を図るとともに、次世代のボランティアリーダーの育成、会員による自主的な運営、県内の他団体との交流を図ることが課題です。</p>
<p>・警察官との合同パトロール 2,058件 ・防犯講話 5,509件 ・広報啓発キャンペーン 867件 (いずれも数値平成30年12月末時点)</p>	<p>合同パトロール、防犯講話等の実施により、自主防犯ボランティア団体の活動の活性化が図られました。</p> <p>自主防犯ボランティア団体の構成員の高齢化が進んでおり、若い世代の参加促進を図ることが課題です。</p>
<p>・「ChiPSS」委嘱状況 38人、・「ChiPSS」活動状況 延べ116回、201人 (内訳) 街頭補導活動 58回、104人、広報啓発活動 15回、20人 スポーツ・学習支援活動等 22回、34人、その他(研修等)21回、43人</p>	<p>各種活動を通じて、少年の非行防止や健全育成活動を推進しています。</p> <p>今後も、熱意・行動力のある大学生の新規獲得・委嘱に努めていくことが課題です。</p>
<p>・少年補導員兼少年指導委員527人 ・少年指導委員 66人 ・少年補導員、少年指導委員の活動状況 延べ1,282回 (内訳) 街頭補導活動 638回、広報啓発活動(キャンペーン) 111回 環境浄化活動 6回、その他の活動 527回</p>	<p>各種活動を通じて、街頭補導活動や環境浄化活動等を推進しています。</p> <p>今後も、熱意・行動力のあるボランティアの新規獲得・委嘱に努めていくことが課題です。</p>

(2) 市民活動団体等と県行政・市町村行政の協働の推進

No.	事業名	事業概要	実施目標
56	市町村と市民活動団体との連携促進事業 〔県民生活・文化課〕	各市町村の協働に関する取組や市民活動支援センターの機能強化を支援するとともに必要に応じ専門家の派遣等を行う。	派遣回数:6回
57	学校と市民活動団体との連携促進事業 〔県民生活・文化課〕	地域の民間教育力を活用した地域協働の活性化を図るため、教職員向けの講座を実施することにより、NPOと学校が連携するための環境づくりを促進する。	開催回数:1回
58	県・市町村推進会議の開催 〔県民生活・文化課〕	効果的なNPO・ボランティア施策形成に向けて、県と市町村とが情報交換・意見交換等を行う推進会議等を開催し、県と市町村との一層の連携と協力を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村市民活動調査の実施 ・担当課長会議:1回開催 ・推進会議:1回開催
59	パートナーシップ推進員会議の開催 〔県民生活・文化課〕	県庁内における市民活動団体及び市民活動推進施策に対する理解を促進し、協働の体制を強化するため、県行政の関係課職員をパートナーシップ推進員として指定し、推進員会議を通じて理解促進や情報共有を行う。	開催回数:2回

4 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

進捗状況	現時点での評価
<p>■専門的知見から助言を求める市町村に対して、専門家の派遣を実施</p> <p>【結果】</p> <p>①6/26八街市協働のまちづくり推進委員会(認定特非)ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 牧野氏</p> <p>②10/26茂原市協働のまちづくり交流会 *協働を進める上での悩み事への相談会(特非)ディーブデモクラシーセンター 加納氏</p> <p>③12/1茂原市市民活動フェスタ *フェスタにおけるワークショップ(特非)ディーブデモクラシーセンター 加納氏</p> <p>④⑤1/31大網白里市庁内研修会 関東学園大学経済学部 教授 中村氏</p> <p>⑥2/17木更津市地域ボランティアコーディネーター養成講座 (特非)ディーブデモクラシーセンター 加納氏</p> <p>【予定】</p> <p>⑦3/12柏市光ヶ丘コミュニティネットワーク運営委員会における地域連携づくり委員会 合同会社J-doc company 代表社員 影山氏</p> <p>⑧3/14木更津市3者連携による地域防災セミナー 公益社団法人SL災害ボランティアネットワーク・千葉 会長 片桐 氏</p> <p>⑨3/18流山市市民活動支援センター事業計画検討会 (認定特非)ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 牧野氏、勝又氏</p>	<p>専門家の派遣はここ数年低調でしたが、市町村のニーズを捉えた事業運営により、開催回数が大きく向上しました。次年度についても既に今年度並みの派遣希望があり、今後も市町村との情報共有を密にし、より良い支援体制を整備していく必要があります。</p>
<p>9/21 公立学校等新任教務主任研修及び県立学校等企画・運営リーダー育成研修「NPO活動と学校との連携」 総合教育センター、94名、NPO法人企業教育研究会 事務局長 市野氏</p>	<p>教育庁が開催する講座と連携して事業を実施することで、教職員がNPOや協働について学ぶ場を提供できています。 今後は、具体的な活動事例の提供などにより、更なる推進を図ることが必要です。</p>
<p>・市町村が実施するNPO・ボランティア関連事業、及び市町村市民活動施策の進捗状況を調査し、調査結果を県民や市町村等に情報を提供</p> <p>・4/23 市町村市民活動担当課長会議、千葉県文書館、参加者：42名(40市町村) 内容：県民活動推進施策説明、事例発表：南房総市ほか</p> <p>・12/26 市町村市民活動担当者会議(ちばコラボ大賞表彰式及び事例発表会)、ホテルプラザ菜の花、参加者(うち市町村のみ)：25名</p>	<p>市町村市民活動調査については、予定どおり実施しました。</p> <p>市町村市民活動担当課長会議及び市町村市民活動担当者会議では、千葉県県民活動推進計画の説明及び県内の協働の優良事例を紹介しました。</p>
<p>・6/8第1回、県庁南庁舎、出席者：30名 内容：パートナーシップマニュアル及び千葉県県民活動推進計画(平成30～32年度)の説明、講演：関東学園大学経済学部教授 中村氏)</p> <p>・12/26第2回(ちばコラボ大賞表彰式及び事例発表会)、ホテルプラザ菜の花、参加者(うち県職員のみ)：24名</p>	<p>第1回会議は、パートナーシップマニュアル等の説明や講演を通して、県職員に求められる協働の必要性、考え方の理解を促進することができました。</p> <p>第2回会議は、具体的な協働事例の紹介を行うことで、各協働事業を進める上での参考とすることができました。</p> <p>今後は県職員として協働をいかに促進していくかを考える機会の提供や、各課との連携体制の強化を図っていきます。</p>